

ED.JP ドメイン名の行方

— パンドラの函を開けたのか？ —

JPNIC DOM-WG

川崎 基夫

kawasaki@nic.ad.jp

誰のためのドメイン名か

- 主に「児童・生徒などの教育を受ける人」のためのドメイン名
- 子供たちが幸せにインターネットに参加するために

このコミュニティの特徴

- 学習の一環としてのインターネット
 - ネットワークリテラシを育むために
 - ローマ字識別能力？
- 6・3・3で入れ替わる
- クラック小僧？

- コミュニティ内部でもばらつき

ステークホルダー

- 子供たち
- 教職員
- 保護者
- 教育行政
- 教育学者・心理学者
- インターネット・コミュニティ
- ISP・通信事業者
- 機器ベンダ
- JPNIC
- 全員の満足？
- 全員が不満？

「良い」ドメイン名への努力

- ユーザが希望するドメイン名
- 短い
- 小学生でも使いやすい・わかりやすい・覚えやすい
- 管理運営する側の便利
- インターネット的発想との整合

本当に必要か？

- 1670万ユーザ・42,000ドメイン？
- そのコミュニティは望んでいるのか？
- インターネット接続とドメイン名登録は別？
- ドメイン名衝突回避・費用優遇との関係

- アンケートの結果では「欲しい！」

登録対象

- 学校
 - 幼保？
 - 小中高特殊教育
 - 外国人学校
- 学校群
 - 私立学校
 - 大学付属校
 - 教育センター
- 「明確に定義できる」か？
- 明らかなものから周辺領域へ
- 周辺領域
 - 各種学校？
 - 専修学校？
 - 学習塾？
 - 趣旨に照らして

ドメイン名の構造

- <学校名>.ED.JP
- <学校名>.<都道府県名>.ED.JP
- <学校名>.<市町村名>.<都道府県名>.JP
- <学校名>.ED.<都道府県名>.JP
- <学校名>.AC.JP
- <学校群>.NE/GR.JP *
- 混在型・選択の余地(属性型・地域型)
- ドメイン名の例・利点欠点は第3回アンケート案を参照

ドメイン名の衝突回避・調整

- 先願主義
 - これまで通り
 - 単純明解
 - 先行者は先願主義で登録した
- 衝突回避・調整
 - 登録対象が特定多数
 - 競争原理がなじむか？
 - 予算措置上の順番がドメイン名選択の順番？

費用優遇措置

- 次世代を担う若者たち
- 方法論
 - 外部委任し、委任先が優遇措置を取る
 - 外部委任し、作業軽減分を優遇措置へ回す
 - JPNICが資金援助を受けて優遇措置を取る
- JPNIC手数料は実際のコスト負担
 - 一部を優遇する=その他を差別する
 - 社団法人としての税務対策

外部委任

- 5年で40,000校 = 1ヶ月670校 = 申請数
+25%
- ドメイン名衝突回避の調整役？
- 費用優遇措置の受け皿？
- 外部委任の条件は？
- 候補者はいるのか？
- JPNIC自身が扱うこともできる

急ぎすぎ vs. 時間が無い

- 急ぎすぎ
 - 2LD 新設には慎重に
 - コンセンサス形成が重要
 - **Domain Talk** はロンダリングのため？
- 時間が無い
 - 今年度も予算は付いている
 - 「ED.JPが決着するまで待て」
 - 来年度予算を取るには9月までに決着を

管理の範囲とドメイン名構造

- 独立事象であって、技術的にはどうしてもなる
- 一致させるほうが直感的にはわかりやすい
- 誰が管理を行うのか -- 権力闘争？

- 間口を広く、さまざまなケースに対応

有害情報フィルタリング

- ドメイン名・IPアドレスで大雑把なマスクは可能
- 専用のフィルタシステムも登場しつつある？
- 過剰な期待はしない方が賢明

- (セキュリティは大問題)

結論への道筋

- オフミの後
 - アンケート？
 - オフミからの提案？
 - もちろん、やめちゃうって選択も....
- アンケートの拘束力
 - アンケートの結果はコンセンサスか
 - 組織票ってありなの

参考資料

- 「ED.JPドメイン名に関する FAQ (案)」
- 「『ED.JPドメイン名新設の提案』に関するアンケートのお願い(案)」
- 第1回・第2回のアンケート結果